

# ワクワクする授業をつくろう！

～楽しいと感じる場面を授業に散りばめて～

## 廿日市市立吉和小学校

全児童数	28名 (男子13名 女子15名)
全クラス数	5クラス(特別支援級1クラス)
TEL	(0829) 77-2010

### 1 課題と目的

#### 【課題】

児童アンケートを行ったところ、「運動やスポーツをすることが好きですか?」という問いに対して否定的評価が11%、「体育が楽しいですか?」という問いに対して否定的な評価が14%であった。

#### 【目的】

体育が楽しい!と児童が思える授業づくりを研究することにより、教員も主体的に授業に向き合う。

### 2 主な取組の内容(領域:器械運動)

#### (1) 楽しい授業と楽しくない授業の精選

どんな授業を行うと児童が楽しいと思えるのか、教員のこれまでの体育科の授業の経験から、“楽しさ”につながる支援を授業に散りばめた。

#### (2) 時間の使い方

準備運動 5分、説明 5分

主運動 30分(7・8分ごとに確認・共有)

振り返り・片付け 5分

#### (3) 場の設定

児童が挑戦できる・やってみたくなる場の設定を行った。選択できるさまざまなコースを設定した。

### 3 取組で工夫したところ

#### (1) 学習意欲を高める工夫

- ① 児童アンケートを行うことで、児童の実態把握をした。
- ② ルールを分かりやすくし、それを端的に伝えることで、児童がルールをしっかり理解して、自ら工夫して活動を行えるようにした。

#### (2) ICTの活用

- ① オフラインでのスライドの活用をすることで、

児童がやってみたい技をイラストで提示した。

- ② 自分の動きを録画して、確認できるようにすることで、自然と友だちとの会話の中で、アドバイスし合うことができた。

#### (3) 場の工夫

- ① カラーマットを活用し、さまざまなコースを設定した。「上手に回ってはダメ!」コース、「自分たちで作ってみよう」コース
- ② 跳び箱の向きや大きさを変えて設置し、児童が自らの課題に挑戦できるようにした。
- ③ 教具を工夫し、児童が選択して活動したり、場を設定したりできるようにした。

### 4 成果と今後の課題

#### 【成果】

- ① 児童アンケート  
「運動やスポーツをすることが好きですか?」という問いに対して否定的評価が4%、「体育が好きですか?」という問いに対して否定的評価が11%に減少した。
- ② 児童が楽しく活動できる授業にするために  
・説明や準備などを短くして、主運動の時間をしっかり確保すること。  
・児童が選択できる場をつくること。  
これによって、児童がより主体的な学びになっていくことが分かった。

#### 【課題】

- ① 準備運動の際に、主運動につながる運動遊びを研究することで提示できる運動の種類を増やす。
- ② 苦手意識のある児童が意欲的に取り組むことができるように、何につまずいているのかをしっかりと見取り、効果的な手立てを考えていく。



説明の際に、オフラインでスライドを見ている様子。



中学校用の大きな跳び箱に挑戦している様子。



提示した教具から、児童が選択して、グループで楽しい場を作っている様子。